

## ロシア極東地域における輸出を目的とする木材伐採および木材製品の供給に対する 合法性管理システム

Alexander N. Sidorenko  
Dalexportles 木材輸出業者協会（ロシア極東地域）

### 概要

私たちをこのセミナーに招いていただき、さらにはロシア極東地域を原産とする原材料の合法性管理システムについて紹介する機会を与えていただいた関係者各位に感謝の意を表す。

ロシア極東地域には、木材収穫および輸出を目的とする木材製品の供給の合法性を監視するシステムが幾つか存在している。

- ・国家的なシステムは、30 を越える制定法に基づいており、森林に関わる 15 以上の省庁が関与している。

上記の法律は国内法であるため、ロシアの木材産業部門における実情およびロシアの森林利用・管理システム（特に、下記のシステム）について精通している外国人が非常に少ないのは明らかである。

- ・ Dalexportles 協会（DEL）検証システム
- ・ SGS VLTP システム

次にこれらの各々のシステムについて簡単に説明する。

### 国家的合法性管理システム

国家的な合法性管理システムは、森林事業の全段階が対象になっている。ロシアでは 1930 年代に森林ストックに関する調査研究が開始された。当時は厳しい中央集権体制であり、国家が例外なくすべての物の所有権を有しており、さらには計画経済であったため、当時のソ連の全財産の明細書を定期的に作成する必要があった。このため、森林を含むソ連の各部門を対象にしたユニークな全ストック・管理システムが各地域において確立されている。森林はすべて地区に分割されて国営木材産業公社に割り当てられている。

森林ストックの管理を目的として設立された森林ストック企業が、すべての割り当てに関する森林ストックの種類、密度および年齢について徹底的な研究を実施して報告書を作成している。この森林ストック研究および明細書作成は今日においても引き続き定期的に行われている。さらに、森林ストック区画を森林企業に配分および割り当てるシステムも保持されている。

国は、最長 49 年間の森林区画基金長期融資を森林使用者に対して行っている。同時に、会社一地主の法律上の立場、事業上の支払能力および社会的責任について定めている。森林区画は、持続可能な森林管理に関する長期的な国家政策に準じて供与される。ロシアには、森林の使用が制限されているか又は完全に禁止されている地域が数多く存在している。これらの制限は、主に環境保護問題、水保護区、などに関連したものである。現段階においては、連邦法、森林法および税法が会社の活動を規制している。

各企業は、国家規制に従って伐採およびその他の収穫活動に関する計画を策定する。年間収穫量は、伐採を許可制にすることで（規定することで）制限されており、融資森林基金の割り当ての際に持続可能な森林管理が確保されることになる。伐採量、伐採技術、生態学上の課題に関する規制を順守しているかどうかは、Rosleskhoz、Rosprirodnadzor、Rosselkhoznadzor、天然資源省、森林産業省、ロシア連邦の主体である各地方自治体の環境局の検査によって確認される。

上記の省庁局の下における制定法又は規制の違反責任は様々であり、違反の重大度に左右される。罰則は、罰金から森林区画の賃借権剥奪に至るまで多岐である。他方、企業の責任者に対しては刑事責任を追求することが可能である。違反者は、自己の事業と自由を奪われるリスクを有する。

森林業に従事する企業は、伐採作業結果に基づき、実施した作業状況、収穫量、伐採地などを記載した申告書を提出する。伐採申告書を提出後は、公式に発表されたデータおよび実際のデータの検証手続きが開始される。当該検証には、土地測量および飛行機と衛星からの航空写真の両方が用いられる。

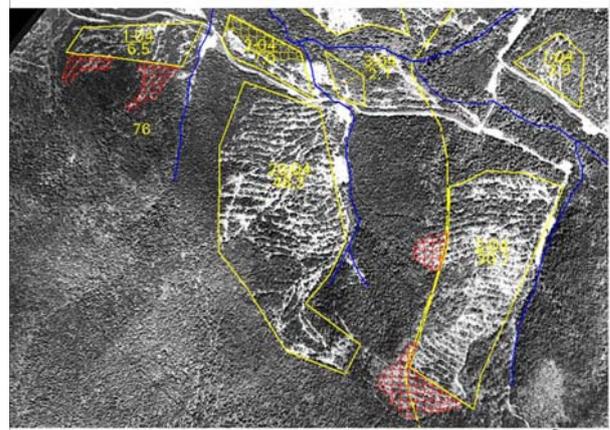


図 1 処理済航空写真画像

航空写真画像を解析することで、法定境界線外における密な切り込みおよび収穫を含む違犯が行われているのがわかる。さらに、大規模な環境破壊跡も観察することができる。航空写真によって発見された違法行為は、土地測量によって再確認および検証される。土地測量は、それよりも小規模な生態系の破壊の識別にも用いられる。ハバロフスク地域では、1580 人の森林作業員が土地の検査に従事している。あらゆる種類の管理結果が比較、解析され、さらなる意思決定のために用いられる。

国家システムに基づく輸出を目的とする木材製品供給の合法性に関するさらなる管理責任が Rosselkhoznadzor およ

び運送業者に割り当てられている。

発送場では、Rosselkhoz nadzor が、出荷準備が整った状態で木材置き場に置かれている木材を検査して合法性を確認する。さらに、出荷される木材製品の量および構造上のパラメータを示した検査証明書が発行される。

木材製品が積載された車両の重量を大きな輸送ターミナルにおいて計量することで、木材製品の実際の量が貨物運送状において申告されている量を超えている場合は車両の違法な過剰重量に関する違反を発見することが可能である。最も頻繁に行われる違反は、怪しげな会社が Grodekovo ターミナルを通じて中国に木材を引き渡す違反行為である。違反が行われた場合の罰金は、輸送料の5倍の金額である。

運送業者が港において引き渡し後は、税関の管理区域に物品が保管される。Rosselkhoz nadzor は、港に到着するすべての木材製品積載車両を注意深く監視し、検査証明書の有無を確認する。さらに、Rosselkhoz nadzor 検査官は、VNIICR 専門家（全ロシア植物検疫科学研究所）と協力して木材を再検査し、出荷地において発行された実際の証明書数を計算し、貯蔵場所における実際の証明書数と比較検証し、全船積委託貨物に関する統一植物検疫証明書を発行する。

木材製品の船積み前に税関検査が行われる。この場合は、税関法に準拠した手続きに準拠する。税関では、輸向け物品の数量および品質に関する Rosselkhoz nadzor、商業会議所および業界専門家の結論およびその他の独立した専門家による報告書に基づいて検査作業を行う。さらに、輸出のための船積み準備が完了している物品に関する税関自体の検査も実施される。船積み完了後は、輸出目的で出荷された木材製品の合法性を確認する貨物通関証を税関が発行する。

貨物通関証が製品の合法性を 100%保証できるわけではないということは明らかである。ロシアには上記のような違反が存在することは認めるが、現在はこれらの違反対策に取り組み中であり、違反件数も減少してきている。

違反は主に以下の2つに分類することができる。

1. 違法な木材収穫およびそれによる環境被害
2. 森林事業における経済的違反に関連する違法性

ロシアにおける天然産物の違法採取は、衛星と飛行機による既存の監視システムのおかげでかなり限定的である。上記の違反および違反者は、簡単に特定して処罰することが可能である。このため、天然産物の採取に関わる違反件数は徐々に減少してきている。

森林事業における経済的違反（主な違反は脱税）の取り締まりほうが複雑である。残念なことに、その他のあらゆる産業部門においても同様の違反が行われており、ロシア国内に限ったことではない。

最も重要な課題の1つは、販売する木材製品の価格設定手続きである。価格は、売主と買主の間で各々の自由裁量で個別に設定され、数多くの要因に左右される。国家関税委員会では、ロシア全土の税関を対象にした最低価格水準を毎月設定しており、木材製品を含む輸出品の関税額を決定時に用いられる。

輸出業者が公正価格よりも低い価格を申告した場合は、税

関は、関税額調整法に準拠して輸出税を訂正しなければならない。しかしながら、価格設定中における行動が不公正（二重送状）であるため、重大なロシア通貨・税法違反が行われる。このような重大なロシア通貨・税法違反が発生するのは、売主が買主に対して、総額の一部だけを振り込んで残額は様々な銀行口座に振り込むように依頼する場合である。この場合は、関税には影響ないが、国家予算における税収減少になり、不正な輸出業者が違法な利益を得て脱税することになる。

上記の脱税は、2003年12月10日に制定された連邦法 No.173-Φ3 第3章第19条「通貨規制および通貨管理」の重大な違反であり、公認銀行の口座に納税されていない金額の3/4~1倍の追徴金が課せられる。2001年12月30日付「行政違反法」No.195-Φ3 第15.25条第4項

この種の違反については、ロシア中央銀行の通貨統制機関が、外国貿易契約に基づく決済業務に従事する代理銀行を通じて監視している。当該違反が発生した場合は、過小評価された課税基準が設定される。売主は、必要な場合は、自己の勘定における販売品に関する全金額を受け取った後のみにその他の国の口座に送金する権利を有する。

上記のような重大な侵害は、ロシアにおいて監視するのは非常に困難である。税関は統一された（指示）価格に従う。販売価格が指示価格よりも低い場合は、税関は、当該物品の輸出を禁止する権利も何らかの障害を設ける権利も有しておらず、勧告（指示）された価格になるまで関税を上げるだけであるにすぎない。税関が違法価格に基づく森林製品の輸出を停止させる行動については売主による裁判所への異議申し立てが行われている。税関の職務は国境を通過する物品に関する関税を徴収することであり、税関は、どのような価格が公正で、どのような価格が公正でないかを定める商業組織ではないのである。

しかしながら、買主である日本企業は、「違法価格」と呼ばれる上記の違反を食い止める上で、そしてその結果として違法な木材製品の供給を食い止める上で多大な貢献をすることが可能である。以上の理由で、契約書において指定された売主の口座に全額振り込むべきであるということをも日本の買主は承知しているはずであり、ロシア人の売主が二重送状を用いて複数の口座に金額を振り込むように依頼した場合は違法である。

ほとんどの場合、違法活動をする目的は、法律を順守しては手にすることが不可能な付加的な収入を得ることである。違法な活動には木材の収穫コストを引き下げることも含まれており、あらゆる種類の規制および法律に違反した場合は環境の持続性が侵害されることになる。国家管理システムは上記の違反と闘っている。

違法活動には、課税逃れのために製品の価値を隠すことも含まれている。すなわち、「違法価格」に基づく二重送状を用いた取引である。現段階では、日本側の当事者に支援と協力を要請中であり、契約書において指定されていない口座に振り込む必要がある森林製品をロシアから購入（違法購入）しないように依頼している。

#### Dalexportles 協会木材輸出業者が実践する合法性検証システム

国家管理システムに加えて、Dalexportles 協会自体でも木材収穫および輸出を目的とする木材供給の合法性検証システムを設けている。この検証システムは、極東木材輸出業者協会である Dalexportles と日本木材輸入業者協会の

間における覚書が2006年4月にハバロフスクで取り交わされたことに基づいて構築されたものである。

同覚書に従い、ロシアの輸出業者は、既存のいずれかのシステムを用いて、すなわち持続可能森林管理証明書を受け取ることによって、原木材の原産地を検証して合法的であることを確認しなければならない。しかしながら、「FCS」システムに基づいて持続可能森林管理証明書を受け取るのは長い期間を要することを考慮して、同証明書を受け取るまでの暫定措置として Dalexportles 協会の保証を受けることが取り決められている。

木材収穫および輸出を目的とする木材製品の供給の合法性に関して Dalexportles 協会が実践している全体的な検証システムは以下のとおりである。

- 1) 基本的条件として、該当する会社は DEL の会員であること。
- 2) Dalexportles 協会は、監査法人、極東森林研究所および DEL 協会執行理事会の各々の代表によって構成される委員会を設置する。

検証対象項目は、木材収穫および輸出を目的とする木材製品の供給の合法性検証を目的として策定された Dalexportles 協会の方針に基づいて設定される。設置された専門家委員会は、合計 78 項目から成るアンケートに対する回答を申請企業から受け取る。

質問は、以下の項目に分類される。

1. 会社の法律上の地位  
申請会社が株式を発行して企業代表者としての登記手続きを行う段階において同会社の法律順守の有無が検証される。
2. 土地および森林基金の利用  
収穫作業権の取得の合法性が検証される。申請会社に供与される森林基金の割り当ての基礎となる契約が検査される。さらに、締結された契約に基づく申請会社の義務の履行に関する評価が行われる。
3. 木材製品製造技術  
専門家チームが、木材収穫技術および法律と規制の順守について審査する。
4. 品質管理システム  
木材製品の保管、測定、等級づけおよび在庫明細書作成に関する規制の順守
5. 持続可能な森林管理  
環境保護、植林、森林火災防護、全木材製品の利用、等に関する法律上の要件の順守
6. 企業管理システム  
納税およびその他の義務づけられた支払いの完全性および正確性が審査される。確立されている給与水準および予算と予算外の基金に対する義務づけられた支払い水準が審査される。

上記の項目を最適化する、すなわち税額を減らすことを目的として違法な方法を用いるのは当然のことながら法律に違反する行為である点を指摘する。さらに、これらの会社には、過剰な利益をあげて結果的に違法活動を拡大させる機会が存在している。その他の現行システムと比較して、税額計算の完全性および正確さの検査は Dalexportles 協会が実践している検証システムが有する 1 つの独特な特長であることに注目すべきである。

7. 木材製品輸送監視  
この段階では、入庫方法、倉庫内木材製品明細書

および関税法の順守が検証され、販売製品の価値に重点が置かれる。

Dalexportles 協会は、専門家委員会の評価結果および木材収穫および輸出を目的とする木材製品の供給の合法性の承認・不承認決定を申請会社に通知する。

- 3) 申請会社が Dalexportles 協会会員でない場合は、入会を申し込むことができる。

Dalexportles 協会会員は、法律順守および評判を価値あることとして非常に重視している。現在では、ますます多くの会社が私たちの考え方と手法を共有するようになってきており、DEL 協会に入会して木材収穫および輸出を目的とする木材製品の供給の合法性の検証を受ける態勢が整っている。

### SGS VLTP 検証システム

原木材原産地および輸出を目的とする木材供給の合法性に関する上記の国家管理システムおよび Dalexortles 協会が実践する検証システムに加えて、合法木材検証プログラム (VLTP) がロシア極東地域において実現中である。同プログラムは別個に説明されるため、ここでは簡単に触れることにする。

合法木材検証プログラム (VLTP) は、地球的規模の森林監視プログラムの一部であり、145 カ国で運用されている。VLTP の目標は、木材の違法収穫および違法に生産された木材製品の取引を取り締まることを目指した国際的イニシアチブ、各国のイニシアチブおよび地域的なイニシアチブに貢献することである。VLTP の考え方は、違法な森林管理と闘うことを目指す国際的なイニシアチブの要求を満たすものである。

ロシア極東地域における SGS VLT プログラムは、地方政府管轄の下で、官民共同の枠組の中で自主的に実践されている。SGS VLTP に基づく「合法性検証」は代替策であるとみなされているが、持続可能な森林管理検証プロセスを補強する有用な活動である。

プログラム管理は SGS が担当しており、SGS は、VLTP 機関を通じて、ロシア極東地域のハバロフスクにおいて設置された地元組織である森林証明センターとパートナー関係を結んでいる。

合法性検証方法は次のとおりである。すなわち、データの収集、全会社および国の管轄機関から受け取った情報の相互分析、生産地域の抜き打ち検査、継続的な作業監視、木材製品製造に関する動的データ分析、遠隔監視におけるデータ分析。

### 結論

木材収穫および輸出を目的とする木材製品の供給の合法性に関する上記の検証システムの中では国家管理システムが最も強力でかつ有効なシステムであることは明白である。国家管理システムは、非常に数多くの重複する検証サブシステムによって構成されており、二重の確認が行われる場合もある。国家管理システムでは、提供情報の信頼性および情報隠匿も対象になっている。また、検査対象会社は、法律に違反した場合は責任を負うことになる。ロシアでは、生態系の安全性を常に確保するシステムが長年の伝統になっている。

現在は、様々な管轄機関の代表者が互いに連絡を取り合っており、木材業界の会社は責任ある合法的な事業を営むことを決意している。この傾向は最も重要なことである。合法的で透明かつ持続可能な事業を営むことが我々の将来を保証するものであるということは全員が自覚している。